



良 い ヨ ル ダ ン

الأردن كويس

クワイエス アルウルドン

皆さんこんにちは。青年海外協力隊としてヨルダンで活動中の小林です。2012年も残すところ1カ月と少しになりました。ヨルダンでは長い夏がようやく終わりを迎えたと思ったら、一気に冬になった感じがします。生徒たちの服装も、一気に冬服になっています。

ヨルダンでは9月から新年度が始まり、活動先でも新入生が入学し、新たな環境で活動が始まりました。活動内容はほぼ変わりが無く、週4回授業のサポートを行い、週1回違う学校で日本製機械の修理や稼働状態のチェックを行っております。

今回は協力隊の試験について、派遣前訓練について、私の勝手なイメージですが、ヨルダン人について紹介したいと思います。

1. 協力隊の試験について

10月1日～11月5日まで、平成24年度秋募集が行われ、来年2月までに最終合否が発表されます。私はちょうど2年前に受験した事を覚えています。ここでは、ちょっとした情報を紹介したいと思います!!

①何回目で合格するの？

合否は書類審査、健康条件、人物・技術面接等の試験を経て決定されます。語学力（英語）では事前にTOEIC330点以上、英検3級以上などを取得しないと合格できません。この基準に達せず応募を諦めてる人や、不合格になってる人も多いと聞いています。

僕は2回目で合格しました。他にも数回目での合格者が意外と多く、個人的に驚いた記憶があります。中には健康条件で数度落ちても、健康になるように健康管理、体質改善し、無事に合格した人もいます!!

②希望の国（要請内容）に行けますか!?

僕は、第1希望の要請になりましたが、第3希望までも通らなかったボランティアもいました。人や希望先の人気度などによっても異なり、一概には言えませんが、希望が通る可能性は低めかもしれません。これは統計を取ったわけではなく、周囲からの聞き取りによるものですので、信頼度は低い情報です。

JICAや任国の配属先などが置かれている状況などにより、ある程度優先度が違いますし、ボ

ランティアの適正等によっても違うと思います。ただ、希望が叶わなかったからと言って、辞退するような事は思い留まって下さいね。あなたを必要としてる国へ派遣を決めてくれたのですから。

③面接試験はどんな感じ!?

これは面接官に左右されますが、僕の面接では人物面接・技術面接共に、穏やかに終了しましたが、圧迫的な面接だったと言ってる方もいました。また、技術面接ではグループで行う職種や実技を行う職種もあるようです。個人的には技術面接の方が、自分の過去の経歴や知識について聞かれたので、リラックスして受ける事が出来ました。

④ワンポイント!!

2次試験の際に、制服の採寸があります!! 2次試験受験日から、訓練所への入所日まで長くて半年以上になります。この間に体型が大幅に変わると、制服が合わなくなるので、要注意です!! 僕は受験日から入所までに痩せたので、大きくなってしまいました…。

2.派遣前訓練について

現在の制度では派遣前訓練は70日間になっているようです。僕たちの時は65日間でした。

僕は福島県二本松市にある、二本松訓練所（NTC）で訓練を受けましたが、長野県の駒ヶ根訓練所（KTC）でも同様の内容になっています。



二本松訓練所

①訓練はキツイ!?

正直に言うとキツかったです。毎日朝の集いから夜の点呼まで、規則正しい日課が決められています。語学以外にも委員会などの仕事や、ボランティア自身の自主講座が開かれたり、とても充実した訓練期間でした。休みは日曜日のみで、毎週土曜の夜は訓練所近くの岳温泉まで行き、仲間と共に息抜きをし、また翌週からの課業に向けてエネルギーを注入します!!

②語学の授業は簡単!?

語学講師はみんな優しく、丁寧に教えてくれるので、簡単と言えば簡単ですが、基本的に活動で使う言語を勉強するので、単語等は覚えれば覚えるほど自分の活動が楽になると思います。また、他の訓練生などから、他言語の挨拶なども習得できるのが嬉しいです!!最終試験に合格できないと派遣中止となるので、気を抜けません…。



訓練所の教室

③語学以外に何をやるの!?

任国により異なりますが、週1回予防接種の日があったり、任国事情やODAについて、交通・健康・安全対策について勉強したりします。

他にも、日常生活でなかなか聞く事の出来ない講演等もあるので、とても有意義に過ごせます。

④生活班

居室のフロア毎に生活班が決められ、自分たちの訓練生活を運営していました。大人数の共同生活ですから、大幅に外れた行動は班単位で改善したり、各種当番を受け持ったり、語学で疲れ切った心を癒したりと、何かと頼りにできる班の仲間に頼りっぱなしでした!!



訓練所の居室

3.ヨルダン人について

皆さん、ヨルダン人やアラブ人に対するイメージはどのような物をお持ちですか!? 僕はヨルダンに派遣される前に持っていたイメージは、「何かと暴力に結び付ける人々」でした。これは土地に対するイメージも宗教（イスラム教）に対するイメージも混ざっていると思います。

事実として、中東の各国でテロ事件や暴動が起きたと言うニュースを多く耳にしていました。

常に平和である日本に住む日本人にとっては、とても受け入れがたい事件で、マイナスイメージしか持てないと思います。

では、実際にヨルダンへ来て感じている、ヨルダン人に対するイメージの変化を紹介致します!!

①おもてなし上手

道端で出会ったオジサンやお兄さんに、「タアール（おいで）」と声をかけられ、コーヒーや紅茶をごちそうになった事、もう数えきれません!!

レジで後ろのオジサンとお話していたら、僕の商品代をおごってくれた事もあります☆

活動先での昼食は、いつも同僚の先生が準備してくれ、お金払うからと言っても、受け付けてくれません…。

真夏の炎天下の道を一人で歩いていると、知らない人に「ハローサディーキー（こんにちは、僕の友達!!）」と声をかけられ、すぐ近くに行くのに、車で送ってくれる事もあります♪

男性は少ないですが、女性はかなりの頻度で自宅に招待され、おなかが痛くなるまでご飯を食べさせてくれるようです!!僕も数回、友人や活動先の先生宅でごちそうになりました。

本当にこれらは全て好意でやってくれます!!

②頭が良い

見ず知らずの少年やお兄さんに声をかけられ、日本語を教える事が結構あります。まずは「こんにちは」「ありがとう」を教えますが、「私の名前は〇〇です。」と言う長い文章を教えても、1週間後会った時に、しっかり覚えてるヨルダン人の頭の良さに、正直驚きです!!

首都のアンマンと観光地に限ってですが、日本よりも英語が良く通じると感じています。僕の英語力は弱いので、みんな僕以上の英語力で会話してくれます。スーパーや文房具屋などでも英語で話しかけられ、僕がアラビア語で返すと、みんな喜んでくれます☆

ただ、語学以外の部分についてはう~んと思ってしまうような部分もありますが…。

③運動神経が良い

近所の公園で、先輩隊員と共にバレーボールを教えています。そこに集まってくる少年たちはバレーボール経験がありません。しかし、基礎練習も無く試合をやってみると、日本人チームよりも上手です!!自分の所へ来たボールは、手はもちろん足や頭も使って、しっかり相手側コートへ返します。彼らのリーダの誕生日会を我が家でやった時に、箸を使わせても、写真の通り上手に使って食べてくれます!!



④根に持つタイプ!?

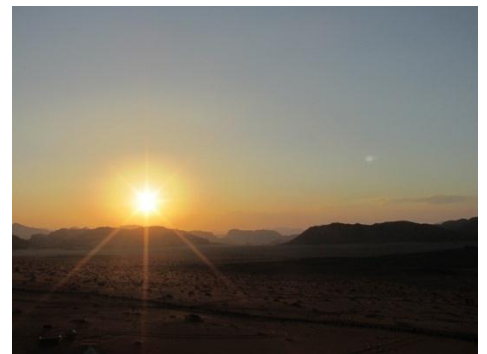
現在、サッカーワールドカップアジア地区最終予選で、ヨルダンと日本は同組になっており、6月に行われた日本での試合では、ご存じかと思いますが、6-0で日本の勝利でした。ヨルダンではみんな悔しがっており、初対面の人と話をして、「僕は日本人です」と言うと、「おお~6対0!!」とよく言われます(笑)

先日、とある検問所で警察官に「国籍は?」と聞かれ、「日本」と答えると、「6対0。行ってよし!!」と言われたこともあります。

でも、日本の事が嫌いな訳ではなく、大体のヨルダン人は日本の事に対して好意的です。日本人と話したことがあると言い張る人も多く、中には「日本人はヨルダンの事何も知らない」と言う、日本人の事を良く知ってる人にも会います。

ヨルダンは王国である為か、日本の天皇陛下、皇太子殿下のお名前を知っている人にも会った事があります。さすがに驚きましたが、日本に興味を持ってくれる人が多いという事でしょう。

ご縁があり、この記事をご覧いただいた皆様、是非、インターネットで「ヨルダン」と検索してみてください!!



世界遺産ワディラムの夕日